

評価細目の第三者評価結果（高齢分野）

A-1 生活支援の基本と権利擁護

A-1-(1) 生活支援の基本

特養・通所 A① A-1-(1)-①	第三者評価結果
利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 入所前の面談等により、心身の状態や意向を把握している。また、起床時間や就寝時間、入浴の際の湯加減や好きな飲み物等、利用者一人ひとりの生活リズムや嗜好等を把握し、共有するために24時間シートを作成している。現在はコロナ禍により、制限されているが、絵手紙や陶芸教室、音楽療法や書道等、好みに応じて参加できる趣味活動も多い。洗濯たたみや物干し、食後の片付け等の日常的な作業はできる限り役割を担っていただけるよう支援している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
訪問 A② A-1-(1)-①	第三者評価結果
利用者の心身の状況に合わせて、自立した生活が営めるよう支援している。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p>	
改善できる点／改善方法：	
養護・軽費 A③ A-1-(1)-①	
利用者の心身の状況に応じた生活支援（生活相談等）を行っている。	
<p>良い点／工夫されている点：</p>	
改善できる点／改善方法：	
特養・通所・訪問・養護・軽費 A④ A-1-(1)-②	第三者評価結果
利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 日頃の会話に加え、手のすいた時間や環境整備の時間を活用して、ゆっくり会話できる時間を作っている。言語的コミュニケーションが困難な利用者については、表情から読み取ったり、筆談で伝えたりする等して工夫しながら思いや意向を汲み取るよう努力している。また、アンガーマネジメント研修を受講し、セルフコントロールについても学びを深めている。</p>	

改善できる点/改善方法：

A-1-(2) 権利擁護

特養・通所・訪問・養護・軽費 A⑤ A-1-(2)-①	第三者評価結果
利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>権利擁護に関しては、虐待防止や身体拘束防止についてのマニュアルがあり、研修を実施している。身体拘束をしないケアに取り組んでおり、必要がある場合には、3要件「切迫性・肥大体制・一時性」に基づいた手順を定め、説明と同意の上で行うこととしている。年2回、虐待の芽チェックリストを活用して自己評価と振り返りを行う等、言葉づかいや接し方について職員の意識の向上に向けた取り組みを行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

A-2 環境の整備

A-2-(1) 利用者の快適性への配慮

特養・通所・養護・軽費 A⑥ A-2-(1)-①	第三者評価結果
福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>施設内は廊下が広く、採光に優れて明るく、清潔が保たれ、温湿度管理も行き届いている。ユニットの入り口には懐かしい飾りや飛騨の民芸品、調度品が置かれる等、あたたかく落ち着いた雰囲気が演出されている。共用スペースには作品や生け花などが適度に飾られ、壁には車いすの目の高さの位置に絵画が掲示されている。窓からは外の景色が眺められ、多くの観葉植物が置かれてある。各ユニットには、自由に過ごすことができる畳の部屋や車いすのまま使用できる炬燵等があり、利用者が思い思いに過ごしている様子が見られた。また、全室個室で、居室には思い出の品や家族の写真、使い慣れた小箆筒、小物入れ等、馴染みの調度品類が置かれる等、利用者の自宅での生活や個性を尊重した部屋作りがなされている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

A-3 生活支援

A-3-(1) 利用者の状況に応じた支援

特養・通所・訪問・養護・軽費 A⑦ A-3-(1)-①	第三者評価結果
---	---------

入浴支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>浴室、脱衣所にはエアコンを設置し、温度管理を行っている。週2回の入浴を基本とし、体調が悪い場合等には、利用者の状況に応じて清拭にしたり、日にちを変える等して、柔軟に対応している。入浴を拒まれる場合は、声をかけるタイミングを工夫したり、気が向いた時に入ってもらおうよう配慮している。浴槽は、寝浴、チェアー浴、リフト個浴等が設置され、身体状況に合わせて入浴できる体制ができています。自立支援の観点から、更衣、立ち座り、移動、洗身等について、できる限り自力で行ってもらおうよう、声かけしつつ見守りながら、側面的な支援を行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
特養・通所・訪問・養護・軽費 A⑧ A-3-(1)-②	第三者評価結果
排せつの支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>排せつチェック表を用い、排せつ頻度やパターン等を把握している。チェック表により、得られた情報は24時間シートに織り込み、職員間で共有している。便秘の傾向がある場合には、朝方に白湯を飲んでもらったり、食物繊維やオリゴ糖を摂取してもらったりしている。排せつの支援については、利用者の仕草や様子を観察し、自然な排せつを促すべく、さりげなく声かけしながら誘導している。また、オンライン研修等を通じて、排せつ用品や排便ケアについて学びを深め、排せつ用品の見直しや排せつトラブルの対応等のケア実践につなげている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
特養・通所・訪問・養護・軽費 A⑨ A-3-(1)-③	第三者評価結果
移動支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者が心身の状況に応じてできる限り自力で移動できるよう、廊下の幅を広くとる等して、環境整備を行っている。杖やシルバーカー、歩行器等の福祉用具を揃え、利用者の状態に応じて活用している。入院等で、状態が変化した場合は、介護職員、看護師や理学療法士、栄養士も加え、計画を見直し、福祉用具や介助方法等について再検討している。車いす等の用具は、毎月点検を行い、空気を入れたり、ブレーキの利き具合を確認したりしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

A-3-(2) 食生活

特養・通所・訪問・養護・軽費 A⑩ A-3-(2)-①	第三者評価結果
食事をおいしく食べられるよう工夫している。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 入所時に好き嫌いやアレルギーについて聞き取りをして、アレルギー食品や嫌いな食べ物については代替のものを提供している。また、定期的に嗜好調査を実施して、献立に反映させている。月に1回程度、行事食があり、季節感のあるメニューが取り入れられている。食材には旬の物や畑で採れた野菜を使ったり、季節の行事に合わせて朴葉寿司やおはぎ等を提供する等して、食事が楽しみなものになるよう様々な企画を検討している。熱いものは熱く、冷たいものは冷たく適時適温で食事を提供している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>特養・通所・訪問・養護・軽費 A⑪ A-3-(2)-②</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>食事の提供、支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： できる限り普通食が食べられるように支援しているが、利用者の咀嚼や嚥下の状況に応じ、普通食、お粥、刻み食、ソフト食、ミキサー食等、形態や調理方法を工夫している。摂取量や体重変化を観察し、必要に応じて栄養補助食品も活用している。食事時の事故についての対応マニュアルがあり、緊急時に職員が対応できるように研修を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>特養・通所・訪問・養護・軽費 A⑫ A-3-(2)-③</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 歯科医師や歯科衛生士の指導により、利用者一人ひとりの状況に応じて計画的に口腔ケアを実施している。また、口腔ケアが難しい場合等、訪問歯科の治療の際に、歯科衛生士にケアの方法について相談する等している。必要に応じて歯間ブラシ、スポンジブラシを活用している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

A-3-(3) 褥瘡発生予防・ケア

<p>特養・通所・訪問・養護・軽費 A⑬ A-3-(3)-①</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>褥瘡の発生予防・ケアを行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 褥瘡防止マニュアルを整備し、毎年、褥瘡についての勉強会を行い、発生予防に努めている。除圧マットやクッションの活用、2時間ごとの体位交換、机やいすの高さの調整、看護師による皮膚状態の観察等を行っている。褥瘡がある利用者に対しては、看護師、栄養士、理学療法士等も参加し、機能訓練や栄養改善等も含めて、ケアプランを作成し、ケアにあたっている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

A-3-(4) 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養

特養・通所・訪問・養護・軽費 A14 A-3-(4)-①	第三者評価結果
介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施するための体制を確立し、取組を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>毎年、喀痰吸引講習へ職員を派遣して技術習得者を増員する等して、体制強化に努めている。経管栄養の利用者も入所しており、家族に同意を得て、医師、看護師の指導・管理のもと、実施している。看護師が中心となって行っているが、夜間等不在時には、緊急時、夜間であっても看護師が駆け付けられる体制を整備し、看護師と連携の下、介護職員が喀痰吸引を行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

A-3-(5) 機能訓練、介護予防

特養・通所・訪問・養護・軽費 A15 A-3-(5)-①	第三者評価結果
利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理学療法士と連携し、ケアプラン作成の際に適切な日常動作訓練のアドバイスを受けている。日常的な生活の中で、介助方法や車いす等への移乗の際の立位の支え方等を工夫することにより、機能訓練も兼ねられるよう支援している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

A-3-(6) 認知症ケア

特養・通所・訪問・養護・軽費 A16 A-3-(6)-①	第三者評価結果
認知症の状態に配慮したケアを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>認知症ケアに係る研修を受講し、利用者の心情に寄り添い、その時々のお気持ちを尊重した支援をしている。月2回、精神科医師の往診があり、例えば帰宅願望の強い利用者には、家族に電話をしたり、傾聴したり、散歩を促す等、周辺症状の緩和方法や服薬調整について助言を受けながら、利用者の状況に応じたケアを実施している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

A-3-(7) 健康管理、衛生管理

特養・通所・訪問・養護・軽費 A17 A-3-(7)-①	第三者評価結果
日常の健康管理が適切に行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>毎日、朝と夕方の2回、バイタルチェックを行い、体調の確認を行っている。また、看護師の巡回等で利用者の状態を把握し、異常があれば、申し送り時に関係職員に伝えるとともに、苑内ネットワークを活用して職員間で共有し、必要に応じて受診につなげている。年1回、健康診断とレントゲン検査を実施しており、結果は家族に報告している。また、予防接種(インフルエンザ、コロナワクチン等)も受けている。内科、精神科の医師が月2回、往診しており、医師や看護師に健康についての相談や説明を受けられる体制ができています。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養・通所・訪問・養護・軽費 A18 A-3-(7)-②	第三者評価結果
必要な時には、迅速かつ適切な医療が受けられる体制が整備されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>利用者の体調変化を早期に発見できるように、様子観察に係るマニュアルを整備し、変化の発見時に迅速な対応ができるよう、緊急時の対応シミュレーションを看護師の指導のもと、行っている。対応シミュレーションは夜間等の職員配置の少ない場面も想定して行われている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養・通所・訪問・養護・軽費 A19 A-3-(7)-③	第三者評価結果
感染症や食中毒の発生予防を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>感染症対応マニュアルがあり、看護師や栄養士が中心となって、感染症が流行する時期に職員研修を行っている。特に、新人研修では吐しゃ物の処理方法や手洗い等の実践研修を必ず行っている。また、職員の健康チェック、検温、マスクやプラスチック手袋の着用等を徹底し、予防接種(インフルエンザ、コロナワクチン等)も実施している。</p>	
改善できる点/改善方法：	

A-3-(8) 終末期の対応

特養・訪問・養護・軽費 A20 A-3-(8)-①	第三者評価結果
利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立し、取組を行っている。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>看取りの指針があり、看取りの段階に入った場合には、医師より家族に説明し、家族の意思確認を行い、家族の思いに寄り添った看取りケアを実施している。終末期では、希望に応じて家族の宿泊にも対応している。看取り後には、カンファレンスを通じてケアの振り返りを行い、職員の負担や不安感の解消に努めるとともに、今後ケアの質の向上に向けて研鑽を積んでいる。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

A-4 家族等との連携

A-4-（1）家族等との連携

<p>特養・通所・訪問・養護・軽費 A② A-4-（1）-①</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。</p>	<p>A・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>コロナ禍の只中であり、面会は予約制により、決められた時間内にアクリル板越しで面会を行っている。また、家族等には定期的に各ユニットによる通信を送付している。利用者の生活の様子がわかるように大きく写真を載せて担当の介護職員がコメントを記入し、郵送しており、家族からは通信を楽しみにしているとの声も聞かれる等、好評とのことである。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

A-5 サービス提供体制

A-5-（1）安定的・継続的なサービス提供体制

<p>訪問 A② A-5-（1）-①</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>安定的で継続的なサービス提供体制を整え、取組を行っている。</p>	<p>A・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	